

獣害対策 青色灯に期待

土木資材やロードサービスなどのイケガミ（石川県小松市）は、イノシシなどの獣害対策に効果を期待する小型ライトを商品化した。太陽光で発電する仕組みを採用し、長時間点灯できる。田畑やゴルフ場、道路など幅広い需要を見込む。（坂本正範）

小松のイケガミが商品化

ライトは高さ約十八センチ、直径約八センチの円筒形。青色の発光ダイオード（LED）を四個付けた。太陽光発電パネルで昼間充電するため電気がかからない。夜間に自動的に点滅し、三百六十度照らすことができる。昼間に約八時間充電すれば、七十二時間連続して使えるという。商品は実用新案に登録された。ゴルフ場



①商品化した小型ライト
②ライトを上部に取り付けたコーン



太陽光発電で夜間も

されることに着目した。ライトに付属品を付けて芝生や山の斜面に差し込んで使う。イケガミはこれまで太陽光発電を使った道路保安用のクッションドラムや半透明の素材を使った円すい形のコーンなどの独自のエコ関連商品を開発、販売してきた。今回のライトをコーンの上部に取り付けることが可能で、動物の道路への飛び出しを防ぐ効果も期待している。

「アニマルライト」の商品名で一個五千元（税抜き）で販売。中国杭州市で製造する。池上久貴専務は「人と野生動物が共存できるような商品を目指した」と話している。